

# ●●● ハルナグループ沿革 ●●●

年	主な出来事
1996	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2月23日に資本金30百万円でハルナビバレッジ株式会社を設立</li> <li>● 第1工場稼働</li> <li>● 金融機関に対し月次決算の開示</li> <li>● 東京にマーケティング本部設置</li> </ul>
1997	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員持株会発足</li> <li>● ハルナビバレッジ研究所設立</li> <li>● 第2工場稼働</li> <li>● 新日本監査法人による調査及び指導開始</li> </ul>
2000	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3工場稼働</li> <li>● 総合衛生管理製造過程（HACCP）取得に向けた合同委員会発足</li> </ul>
2001	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第3工場がJAS工場として認定</li> </ul>
2002	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リサイクルシステム協議会発足</li> <li>● 第5回第三者割当増資及び役員社員に対しストックオプション付与</li> <li>● 四半期報告会を開催</li> <li>● 環境会計導入</li> </ul>
2003	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業競争力の強化を図るため市場開発部門を設置</li> <li>● 提案型企業への変革を目指し商品開発部門を設置</li> <li>● HACCPの考えを充実させるため「総合衛生管理委員会」発足</li> <li>● 中小企業経営革新計画承認（中小企業経営革新支援法）</li> <li>● 「デカステス」産学官共同プロジェクト（高崎健康福祉大学・群馬県）</li> <li>● 人財教育投資、生産合理化投資、総合衛生管理（HACCP）対応投資</li> <li>● 第2工場において、クリーンルームと充填設備増設</li> </ul>
2004	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 第29回国際食品飲料展FOODEX JAPAN2004出展</li> <li>● 人事基本理念制定</li> </ul>
2005	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ビジネススクールを開講</li> <li>● 物流関連企業ハルナロジスティクス株式会社設立</li> <li>● ハルナロジスティクス株式会社 A倉庫完成（740坪）</li> <li>● 緑地公園「ハルナコミュニティガーデン」を整備</li> </ul>
2006	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハルナロジスティクス株式会社 B倉庫完成（860坪）</li> <li>● 全社IT化に着手</li> <li>● 創業10周年記念式典開催</li> <li>● HACCP承認（厚生労働省発関厚第0912001号）</li> <li>● 「地球市民ウィーク2006 環境活動展」出展（主催：高崎市）</li> </ul>
2007	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「食品衛生優良施設」として群馬県知事賞受賞</li> <li>● ハルナウェルネスサイエンス研究所発足</li> </ul>

# 1996 ~ 2017

- 2007
  - EU 輸出用緑茶「YOSHI-GO」発表
  - オーパイ株式会社事業譲受契約締結、タニガワビバレッジ株式会社準備開始
  - 合併会社ハルナヨーロッパ設立
  - ハルナグループ全体会議開催開始
- 2008
  - タニガワビバレッジ株式会社始動
  - プロ野球チーム群馬ダイヤモンドペガサスをパートナーシップサポーターとして応援
  - CSR 報告書発行開始
  - ハルナロジスティクス株式会社 C 倉庫完成
  - ハルナロジスティクス株式会社 D 倉庫完成
- 2009
  - タニガワビバレッジ株式会社 天然ガス設備稼働
  - ハルナグループ組織再編
  - ハルナロジスティクス株式会社 E 倉庫稼働
- 2010
  - 新規事業戦略センター設置
  - 新商品開発プロジェクトチーム発足
  - 「ハルナビジョン 2015」公表
  - ハルナグループ企業行動憲章・企業行動規範制定
- 2011
  - 創業 15 周年記念誌『はじめなければはじまらない』発刊
  - ハルナロジスティクス株式会社 F 倉庫完成
  - エネルギー対策委員会発足
- 2012
  - ハルナロジスティクス株式会社 G 倉庫完成
  - 震災対策委員会発足
  - プラントシステムイノベーション「見える化」にてコントロール室完成
  - ハルナグループ創業記念館新設
  - ハルナプラントのエネルギー転換（A 重油から都市ガスへ転換）
- 2013
  - ハルナグループ、持株会社体制への移行に伴う組織再編スタート
  - HARUNA Asia Co.,Ltd 設立
  - 自社ブローボトル成型機導入、稼働開始
- 2014
  - ビジネススクール榛名山麓研修所開所
  - ハルナロジスティクス株式会社 H 倉庫完成
- 2015
  - HARUNA、国際食品飲料展 FOOD EX JAPAN2015 出展
  - ハルナプラント、国際的食品安全マネジメントシステムの「FSSC 22000」を取得
  - 創業者 青木清志が日刊工業新聞社主催の第 33 回優秀経営者顕彰「優秀創業者賞」を受賞
- 2016
  - 2 月 23 日 創業 20 周年感謝の会 式典を開催
  - ハルナグループ組織再編
  - 創業者 青木清志の自伝が上毛新聞「心の譜」にて連載開始
  - タニガワプラント、「FSSC 22000」認証
- 2017
  - 群馬県の地域活性化キャンペーン「ぐんま愛 ここに生きる」を支援



## 編集にあたって

ハルナグループ「CSRおよびSRR報告書」は発刊10周年を迎えました。これも偏にステークホルダーの皆様の長年のご愛読と存じ、心から感謝申し上げます。

10年目を迎えたハルナグループの活動レポートでは、CSRのその先へCSV「共通価値の創造」にも着目いたしました。

今後も一人ひとりの価値ある未来に向けて、健康で快適な暮らしを守る活動を続けるとともに、ステークホルダーの皆様との対話や協働を通じて社会・環境問題の解決を推進していきたいと存じます。

2017年6月21日



ハルナビバレッジ株式会社  
社長室 秘書 黒澤 厚美



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

本誌は、古紙パルプ配合率80%の再生紙を使用しています。このマークは、3R活動推進フォーラムが定めた表示方法に則って自主的に表示しています。